

<p>児童の実態</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・観察や実験などの学習に、意欲的に取り組んでいる。 ・事物や現象についておおむね理解していても、それに基づいた科学的な思考をしたり、言葉に表したりする力が十分とはいえない。 ・課題について結果を予想することはできるが、実験の結果（事象）から科学的に考察し、結論を導き出すことは難しいと考えている児童が多く、苦手意識がある。 		
<p>授業革新推進に向けての具体的な方策</p>	<p>視点1 上二小授業スタンダードの徹底</p>	<p>視点2 読み解く力の育成</p>	<p>視点3 「探究の時間」またはその他の教科との連携</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・めあての提示と振り返りを行い、学習内容の確認をする。 ・ペアやグループ学習、予想や考察の交流の時間を通して、お互いの考えを伝え合う場を設定し、自分の考えを深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「課題→予想→準備するもの→実験・観察の方法→実験観察の結果→考察→結論」の学習の流れをきちんと踏まえ、児童が一つ一つの活動を着実に取り組めるように指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会科の土地の仕方など、理科で学習したことを使って、土地が変化していくことに気付かせるなど、既習事項を他教科に繋げて指導する。
<p>その他 授業改善に向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてを達成できたのか振り返りを行い、次時の学習へ意欲をもたせる。 ・結果を分析し、考察したことを表現する力を育てるための指導の工夫を行う。 ・新しい実験器具を使う際には、使用前に動画や実技演習を行い、使い方の確認をしてから実験、観察を行う。また、使用時の安全面のルールの徹底を行う。 		

